



報道関係者 各位

新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室した症例について

9月25日、三重県四日市市より、新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室した症例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成21年9月25日

四日市市保健所

新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室した症例について

新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室した症例についてお知らせします。

1. 患者に関する情報

四日市市内在住

11歳(小学5年生)、男児

既往歴：無 渡航歴：無

2. 経過

9月 16日(水)	発熱39℃
17日(木)	発熱38℃～39℃ 市内診療所受診 インフルエンザ簡易検査A型陽性 リレンザ投与開始
19日(土)	血尿認め、市内総合病院に紹介入院 発熱37℃ 呼吸器症状なし 肝臓・腎臓機能低下と血小板減少により、集中治療室 に入室し、治療開始した。タミフルの投与開始(リレンザから変更)
20日(日)	PCR検査にて新型インフルエンザと確定
21日～24日	病状が徐々に改善

3. 患者の状況

状態は安定していますが、集中治療室にて観察中です。

- ※ 患者等の個人情報には、特段のご配慮をお願いいたします。
- ※ 発症以来、患者の病状・家族の心情に配慮し、本日公表いたしました。
- ※ 医療機関個々への取材もお控え願います。
- ※ 本件は、平成21年8月25日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について」に基づき、新型インフルエンザ患者が集中治療室に入室していることから、厚生労働省と連携のもと、公表を行うものです。

連絡先

四日市市保健所 保健予防課 (059-352-0594)

担当： 内山・栗田